

Respite Stellam, Voca Mariam !



小鳩会通信

～私たちのしていることは大海の一滴にすぎないと感じています。

けれど、もしその一滴がなければ、海はその一滴分、確かに少ないということです。～マザー・テレサ

子ども食堂ボランティア



（左）保育園のプールに空気を入れるがなかなか悪戦苦闘（右）お弁当配布の用意をしました

高校Ⅱ年 喜代田 大志

7月29日、暑い夏の日、約一年半ぶりにボランティアに行き参りました。同じカトリック学校である百合学院の隣、百合学院の設立母体である大阪聖ヨゼフ宣教修道女会の敷地にある「若王寺こども食堂」へ行きました。そこで私たちはスタッフの方のお手伝いや、当日のお弁当配布のお手伝いをしました。敷地内には小さな保育園も併設されていました。応援を頼まれて、保育園のビニール・プールに空気を入れる手伝いもしました。子どもたちがプールで楽しく遊んでくれると思うと嬉しく思いました。

そして、当日は、お弁当を受け取るまでの時間、小学生が宿題を持って、こども食堂を訪れており、明星のボランティアメンバーの1人がその子と遊んだりお勉強を教えたりしました。やがて、お昼前になり、お弁当の配布の時間になりました。何組もの方々が来場されました。部活の帰りに受け取りに来たり、こどもたちだけで受け取りに来たり、祖母父と一緒に来たり、もちろん親御さんと一緒に来られていた方もいらっしゃいました。お弁当もなかなかのボリュームで大人でもお腹いっぱいになる内容でした。今回のボランティアでは新型コロナのこともあり、子どもたちとの交流が少なく、例年よりも早く終わった様でした。もう少し仕事をしたいと思いましたが、今後、私たちがもう一度行けるのであれば今回より、もっと積極的に率先して行動しようと思いました。先輩方もクリスマスもイベントでのボランティアをしてきたようです。コロナが早く終息して、私もクリスマスのボランティアにも参加したいと思いました。 ※次号でも同じく子ども食堂のボランティアに参加した生徒の報告を掲載します。

◆今回の献金期間と献金先◆ 10月27日(木)～11月10日(木)

- カリタスジャパン(ウクライナ危機人道支援)
- 若王寺子ども食堂
- こどもの里(西成区)
- 児童養護施設京都聖嬰会

小鳩会委員は、担任の先生と相談して、献金期間のうち都合のよい機会を活用してクラス献金をお願いします。

小鳩会活動は、お金を集めるだけが目的ではなくて、お小遣いでのおやつをひかえて他の人に差し上げる気持ちで献金する、自分の時間を手伝いのために使う、電車の席を譲る…など、自分を差し出して、支えあい、お互いの気持ちが豊かになることに活動の意義があります。日常を小鳩会活動にしてゆきましょう。

保護者会献金

9月16日(金)、秋晴れの中、保護者会募金を行いました。今回もウクライナ難民、子ども食堂、こどもの里、児童養護施設のために献金をお願いしました。多くの方々にご支援いただくことができました。また、今回は1学期のときよりも多くの生徒の皆さんが、下校時に募金して下さる姿を目にしました。



とてもうれしく感じました。3学期にも予定しておりますので、これからも宜しくをお願いします。



※集められた保護者会献金¥57,138は、今回の小鳩会献金と合わせて送金いたします。